

## 平成 29 年度 大学院生による授業評価 報告書

川崎医療福祉大学  
FD・SD 委員会

大学院生による授業評価は、学部の学期別・科目ごとに評価する方法と異なり、年度末に専攻のカリキュラム全体に対する評価として実施している。

### 1. 実施状況

#### 1-1 実施日

提出期限 平成 30 年 2 月 21 日

提出場所 教務課

#### 1-2 実施方法

これまでと同様に、専攻ごとにカリキュラム全体に対する評価として実施した。巻末の資料に示す質問用紙に直接回答する方法をとり、結果を手入力したうえ、分析に供した。

### 2. 実施結果の分析(表)

#### 2-1 回答者数及び回収率

修士課程については在籍者 79 名中 58 名から回答を得て、回収率は 73.4%(昨年度 84.2%)、博士後期課程については在籍者 23 名中 15 名から回答を得て、回収率は 65.2%(昨年度 61.9%)であった。

#### 2-2 教育の満足度(Q1)

以下、各問に対する回答は 5:そう思う、4:やや思う、3:どちらでもない、2:やや思わない、1:そう思わない、の 5 段階評価であった。修士課程は平均 4.2 (昨年度 4.1) で、4.5 以上の高評価であった専攻は健康体育学専攻、臨床栄養学専攻、リハビリテーション学専攻および医療情報学専攻の 4 専攻で、3.0 未満の低評価の専攻はなかった。博士後期課程は平均 4.5(昨年度 4.2)と高かった。

#### 2-3 カリキュラムの体系性(Q2)

修士課程については平均 4.0 (昨年度 3.8)で、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻、健康体育学専攻及び医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程は平均 4.4(昨年度 4.4)と高値であった。

#### 2-4 研究の質(Q3)

修士課程については平均 4.2 (昨年度 4.3)で、4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻、健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻、臨床工学専攻及び医療情報学専攻であった。博士後期課程では平均 4.5(昨年度 4.4)と高値であった。

#### 2-5 指導方法及び教員間の連携(Q4)

修士課程では平均 4.1 (昨年度 3.5) で、4.5 以上の高評価であった専攻は健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻及び医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価の専攻はなかった。博士後期課程は平均 4.4(昨年度 4.5)であった。

2-6 他専攻の教員及び大学院生との対話・交流(Q5)

修士課程では、平均 3.6(昨年度 3.7)で、4.5 以上の高評価の専攻は医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価の専攻は、臨床栄養学専攻であった。博士課程では平均 3.5(昨年度 3.8)であった。

2-7 研究指導(Q6)

修士課程では平均 4.4(昨年度 4.3)で、高い評価であった。4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻、健康体育学専攻、臨床栄養学専攻、リハビリテーション学専攻、臨床工学専攻及び医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価である専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.8(昨年度 4.4)と高い評価であった。

2-8 社会(臨床現場)との連携(Q7)

修士課程では平均 3.8(昨年度 3.9)で、4.5 以上の高評価であった専攻は医療情報学専攻で、3.0 未満の低値であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 3.9(昨年度 3.8)であった。

2-9 成果の公開(Q8)

修士課程では平均 4.0(昨年度 4.1)、4.5 以上の高評価であった専攻は健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻、医療情報学専攻で、3.0 未満の低値であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.3(昨年度 3.8)であった。

2-10 設備・施設(Q9)

修士課程では平均 4.1(昨年度 4.2)、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻、健康体育学専攻、臨床栄養学専攻及び医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.1(昨年度 3.9)であった。

2-11 学習意欲(Q10)

修士課程では平均 4.3(昨年度 4.4)、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻、感覚矯正学専攻、健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻及び医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.4(昨年度 4.3)であった。

3. 自由記述

巻末に資料として記載する。

4. まとめ

総合的な満足度は修士課程 4.2、博士後期課程 4.5 で、前年に比べ修士課程も博士後期課程の評価が上昇した。

修士課程では「他専攻の教員及び大学院生との対話・交流」及び「社会(臨床現場)との連携」に関して平均 4.0 を下回った。これらの項目に関する専攻間で評価値に

相違があり、感覚矯正学専攻、健康体育学専攻及び医療情報学専攻は相対的に高評価で、臨床栄養学は低評価であった。

博士後期課程では「他専攻の教員及び大学院生との対話・交流」及び「社会(臨床現場)との連携」が評価値 4.0 を下回った。

## 平成29年度 大学院生による授業評価アンケート

川崎医療福祉大学 FD・SD委員会

【所属する課程に ○ をしてください。】

- 1 : 修士課程                  2 : 博士後期課程

【所属する専攻に ○ をしてください。】

- |                   |              |                  |
|-------------------|--------------|------------------|
| 11 : 医療福祉学専攻      | 12 : 臨床心理学専攻 | 13 : 保健看護学専攻     |
| 21 : 感覚矯正学専攻      | 22 : 健康体育学専攻 | 23 : 臨床栄養学専攻     |
| 24 : リハビリテーション学専攻 | 25 : 健康科学専攻  | 26 : 臨床工学専攻      |
| 31 : 医療福祉経営学専攻    | 32 : 医療秘書学専攻 | 33 : 医療福祉デザイン学専攻 |
| 34 : 医療情報学専攻      |              |                  |

【専攻の教育全体について、適当と思われるものに ○ をしてください。】

- Q1 専攻の教育は全体として満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q2 カリキュラムは体系的であった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q3 専攻で行われている研究の質は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q4 専攻の教員の指導方法及び教員間の連携は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q5 他専攻の教員や大学院生との対話や交流は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q6 指導教員の研究指導は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q7 社会(臨床現場)との連携は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q8 研究成果を公開する機会は十分に多かった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q9 実験・研究・実習の設備・施設及び図書は満足できるものだった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない
- Q10 あなたの学修・研究に対する意欲は十分に高かった。  
5 : そう思う          4 : やや思う          3 : どちらでもない          2 : やや思わない          1 : そう思わない

〔大学院の教育について、何かご意見があればご自由にお書きください。〕

直接、所属の専攻へ提出するか、または、教務課までご提出ください(郵送可)。  
ご協力、誠にありがとうございました。

提出締切:平成30年2月21日(水) 17:00迄

課程	専攻	学生数	回答数	回収率	Q1:専攻の教育		Q2:カリキュラム		Q3:研究の質		Q4:指導方法と連携		Q5:対話・交流		Q6:研究指導		Q7:社会との連携		Q8:成果の公開		Q9:設備・施設・図書		Q10:学習・研究意欲	
					n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV
修士	11:福祉	11	7	64%	6	4.3	7	4.6	7	4.3	7	4.1	7	3.4	7	4.4	7	3.7	7	4.0	7	4.6	7	4.6
	12:心理	15	12	80.0%	12	3.3	12	3.2	12	3.3	12	3.4	12	3.7	12	3.9	12	3.2	12	3.6	12	3.7	12	3.9
	13:看護	12	12	100.0%	12	4.0	12	3.8	12	4.3	12	3.8	12	3.8	12	4.3	12	3.9	12	3.7	12	3.6	12	4.1
	21:感覚	16	8	50.0%	8	4.4	8	4.4	8	4.5	8	4.3	8	4.0	8	4.6	8	4.0	8	4.3	8	4.0	8	4.9
	22:健体	3	2	67%	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.5	2	4.5
	23:栄養	5	5	100%	5	4.6	5	4.2	5	4.0	5	4.0	5	2.8	5	4.6	5	3.4	5	3.8	5	4.8	5	4.0
	24:リハ	11	10	90.9%	10	4.7	10	4.4	9	4.8	10	4.8	10	3.2	10	4.8	10	4.1	10	4.7	10	4.4	10	4.5
	26:臨工	1	1	100%	1	3.0	1	3.0	1	5.0	1	4.0	1	3.0	1	5.0	1	4.0	1	4.0	1	3.0	1	4.0
	31:経営	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	32:秘書	2	0	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	33:デザ	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	34:情報	3	1	33.3%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0
	合計	79	58	73.4%	57	4.2	58	4.0	57	4.2	58	4.1	58	3.6	58	4.4	58	3.8	58	4.0	58	4.1	58	4.3
博士後期	11:福祉	2	2	100%	2	5.0	2	5.0	2	4.5	2	4.0	2	4.0	2	4.5	2	4.5	2	4.5	2	4.5	2	4.0
	12:心理	2	0	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	13:看護	5	4	80%	4	4.5	4	4.3	4	4.8	4	5.0	4	3.8	4	5.0	4	3.5	4	4.3	4	4.3	4	4.3
	21:感覚	2	0	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	24:リハ	3	3	100%	3	4.7	3	4.3	3	4.7	3	4.3	3	4.0	3	4.7	3	4.7	3	4.0	3	4.7	3	4.7
	25:健康	6	4	66.7%	4	4.5	4	4.5	4	4.5	4	4.3	4	3.0	4	5.0	4	3.8	4	4.5	4	3.5	4	4.5
	26:臨工	2	1	50%	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	2.0	1	4.0	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	4.0
	34:情報	1	1	100%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	3.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0
	合計	23	15	65.2%	15	4.5	15	4.4	15	4.5	15	4.4	15	3.5	15	4.8	15	3.9	15	4.3	15	4.1	15	4.4

回答数:n、平均値(5段階):AV